

議 事 録

会議名	2019（令和元）年度第1回理事会		
No.	理事会-021	文責	根本 学
開催日時	2019（令和元）年5月19日（日）15:00～17:00	開催場所	マイ・スペース新宿三丁目 ビッグビル店5号室
出席者 【敬称略】	【理事】13期 立花、15期 荒井、18期 関、中谷、20期 川田、23期 石井、25期 神田、小 林、30期 根本 【監事】25期 宮下、30期 湊 【常任顧問、議長】1期 野村、7期 丸山、16 期 川上 【オブザーバー】13期 関口		
会議の目的	定時理事会		

内容

【理事会開催に必要な定足数の確認】

理事総数15名中9名の出席があり、理事会開催に必要な過半数出席の要件は満たしている。

なお、13期の関口耕史氏について、常任幹事選出委員会の承認を経て常任幹事に選出し、今後の理事会に随時オブザーバーとして出席を認めることとした。

【議事】

1. 2019（令和元）年度定時常任幹事会開催について

以下のとおり2019（令和元）年度定時常任幹事会を開催することを決定した。

日時：2019（令和元）年6月22日（土）14時

場所：東京学芸大学構内 第2むさしのホール2階

2. 定時常任幹事会目的事項について

関副理事長より、本年6月22日開催の2019（令和元）年度定時常任幹事会の目的事項を、以下のとおりとしたい旨が述べられた。

（決議事項）

第1号議案 第9期（2018年4月1日～2019年3月31日）計算書類承認の件

第2号議案 第10期（2019年4月1日～2020年3月31日）予算書類承認の件

（報告事項）

第9期事業内容、第10期事業計画報告の件

次いで関副理事長より、各目的事項に関し、大要以下のとおり補足説明がなされた。

■収支計算書

- ・懇親会参加費収入は、参加者が想定数を下回ったため、97,000円の赤字となった。

「70周年記念事業」表記は前期分が残ったものなので削除する。

- ・会報等寄付金収入は、母校創立70周年記念誌の発行と頒布に伴う寄付を想定していたが、当期中は記念誌が発行されなかった。母校から本年6月末から7月に発行予定と聞いている。
- ・70周年記念事業寄付支出は、上記のとおり70周年記念誌が発行されなかったため執行しなかった。
- ・懇親会費用は収入と支出の差異67,800円を同窓会予算から補填する結果となった。
- ・ホームページ改修費は作業が発生しなかったため執行しなかった。
- ・会報制作費は従来前年度分の支払いを翌年度に行っていたが、当期は年度内の請求・支払いが実現した。また、若干の修正が生じたため、172,960円の予算超過が発生した。
- ・事務局運営費は、本年3月15日に開催された、国立大学附属学校全国同窓会に出席した理事4名分の会費

(1名12,000円)を支出したことなどにより、19,902円の予算超過が発生した。

・会報発送先の増分は主として新卒者である。

■正味財産増減計算書 ・DVD配布費は、65周年記念DVD11枚分(1枚あたり613円)の償却費を計上した。

現在の在庫は138枚である。

■貸借対照表

・貯蔵品は、65周年記念DVD138枚分(1枚あたり613円)の資産額を計上した。

■収支予算書

・同窓会費収入は、来期から卒業生数の減少(160名から140名)に伴い減少する見込みである。

・懇親会参加費収入は、1名あたり会費3,000円で40名が参加することを想定した。

・会報等寄付金収入は、70周年記念誌の配布による寄付を含んでいる。

・わかたけ会寄付金支払いは、従来300,000円であったものを、前期は母校の財政状況に鑑み500,000円としたが、当期も同様としたい。

・70周年記念事業寄付は、70周年記念誌1部あたり2,500円と想定し、母校に引き取りを申告している400部分の1,000,000円に、資料記載の60万円から変更する。

・ホームページ改修費は、現時点において作業予定はないが、150,000円を維持する。

・会報制作費は、小金井中学校の同窓会報に同封する分(後述)の増刷費を見込み、750,000円から900,000円に変更する。

・事務局運営費は、資料記載の120,000円から100,000円に変更する。

2019(令和元)年度定時常任幹事会の目的事項を、以上のとおり定めることについて、議場に賛否を諮ったところ、全会一致で承認された。

3. 70周年記念誌申し込み状況について

関副理事長より、これまでに70周年記念誌の予約申し込みは65件70冊がなされ、ホームページによるものが26件、郵送が4439件であるとの報告があった。また、恩師や70周年記念誌への寄稿者からも寄付金は徴収する方針が確認された。

4. 常任幹事・理事の拡充策について

関副理事長より、2012年に、当時把握していた常任幹事不在の期のクラス委員(学年委員)約180名に、郵送で常任幹事就任を打診したが、返信があったのは27名のみで常任幹事就任を承諾したのは8名に留まったことが報告された。

理事間で常任幹事・理事の拡充策について意見交換をした結果、まず同窓会報の送付先を増やすこととして、小金井小学校同窓会理事会の承認を得て、同校の同窓会報の送付先から当同窓会が把握していない卒業生を抽出し、本年8月に予定されている小学校の同窓会報に、趣旨を記した書面を添えて当同窓会の会報を同封することが決定された。

5. 若竹会からの体育館への冷房機器設置に関する協力要請について

石井理事および立花理事より、若竹会において母校の保護者から体育館への冷房機器設置の要望が報告され、費用見積もりと負担について同窓会に協力要請があった旨が報告された。費用見積もりについては、丸山常任顧問が東京都の体育館への冷房機器設置関連予算を調査することになった。

以 上